

認知症作業療法 活動報告 (概要)

埼玉県作業療法士会では、地域支援の基盤強化を目指し、認知症専門研修やオレンジカフェの支援を行っている。また、認知症の人と家族の会との連携も継続しており、若年のつどいやオレンジリング絆フェスイベントに協力している。

コロナ禍において、研修はすべてオンライン研修に切り替え、地域支援は感染対策を講じつつも参加が厳しい状況が続いている。このような状況下でも、支援が継続できるような方法を模索している段階。

認知症専門研修 (基礎・応用コース)

対面研修からオンライン研修に変更。基礎コースを2回に分け(前編・後編)夜間に短時間での研修とした。受講者は50名前後で、初めてのオンライン研修であったがスムーズに開催できた。

応用コースは京都府士会とのコラボ研修を実施。京都府士会と埼玉県士会の地域支援の取り組みを紹介し、地域支援の大切さや楽しさをアピールする研修会となった。

認知症の人と家族の会との共催

コロナ禍のため、「若年のつどい」への県士会員の派遣が難しい状態が続いている。

昨年度より、RUN伴をきっかけにはじまった、「オレンジリング絆フェス」に協力団体としてポスター作成や広報で関与している。



オレンジカフェの実施

昨年に引き続き、一部のカフェにのみ人数を制限し会員を派遣。Zoomを使用し、4か所を同時中継しながらのカフェを運営するなどコロナ禍に合わせ柔軟な支援を模索している段階。



これでいいのだバンド! 垣根を超えた水平な関係作り

当事者、専門職、年齢など関係なく音楽好きな仲間とのバンド結成。LINE等のSNSにてバンドメンバーとの繋がりは継続できている。顔を合わせての練習が難しいため、オンラインでの練習やメンバーひとりひとりの動画を組み合わせて1つの動画を作成するなど、コロナ禍においても関係性の継続に力を注いでいる。

